

アチェメックの風

あいち小児保健医療総合センターだより



第66号

令和7年 夏 発行

●発行●

あいち小児保健医療
総合センター

診療科トピックス

総合診療科

**こどもの権利を最大限に。
いつでも総合診療科にご相談ください。**

当センターは愛知県唯一の小児専門医療施設として各専門科が高度医療を提供しています。各専門科がこどものために日々切磋琢磨する姿はさしずめヴァイオリン、フルート、ティンパニなど各楽器の音楽家が素晴らしい音楽を奏でるオーケストラのようです。ただ、どんなに素晴らしい音楽家が揃っても皆が好き勝手に演奏していたら美しい旋律は紡がれません。総合診療科は先進医療を進める当センターの中で、いつでも「子どもの権利」が最大限になるように、そのオーケストラの指揮者として働いています。各疾患の困りごとと、こどもやケアする人が困っていることは必ずしも一致しません。そんな各専門科の診療からこぼれ落ちる思いや問題を見つけ、こどもの権利を擁護することに尽力しています。

さて、当科には日本小児感染症学会認定専門医（指導医）が2名、トレーニング中の医師が1名います。そのため診療の中心は軽症から重症までの中耳炎、肺炎、細気管支炎、髄膜炎など種々の感染症です。加えて、神経、アレルギー、腎臓などを背景に持つ医師も各1名ずつ在籍し、けいれんや気管支喘息、尿路感染症などの疾患も適切に専門科へ繋がられるように共同しています。

外来では体重増加不良や神経発達症、起立性調節障害や不登校、片頭痛、過敏性腸症候群などの診療も行っています。さらに小児科専攻医の教育も中心に担っています。こどものことでお困りの時はいつでも当科にご相談ください。



カンファレンスの
風景

※アチェメックとは、Aichi Children's Health and Medical Centerの略語(ACHEMEC)です。

新任医師紹介

令和7年5月20日現在

●令和7年度、新たに31名の医師を迎えました。



福田 悠人
総合診療科



澁谷 泰紀
総合診療科



有泉 桜子
総合診療科



光山 瑞穂
総合診療科



安宅 伸人
救急科



李 萌
救急科



原 公彦
救急科



武田 勇毅
集中治療科



鵜沼 篤
麻酔科



中野 晃輔
麻酔科



森下 博隆
麻酔科



吉田 晴香
麻酔科



大森 茉令
アレルギー科



大瀧 悠嗣
アレルギー科



立川 智広
感染免疫科



寺沢 真由子
腎臓科



藤本 英ミレナ
内分泌代謝科



牧 祐輝
神経内科



水谷 修平
神経内科



毛利 純子
小児外科



中本 汐音
形成外科



清水 徹
泌尿器科



岩佐 俊
泌尿器科



伊藤 里紗
脳神経外科



鵜飼 啓
循環器科



柳瀬 佑馬
循環器科



山口 章
心臓外科



内田 亜津紗
産科



松岡 菜月
耳鼻いんこう科



服部 晴吉
歯科口腔外科



田中 佑樹
歯科口腔外科



看護部だより

こども家族医療支援室（退院調整担当）

退院調整看護師は、退院後も自宅でケアを続けるこどもと家族の退院までをサポートしています。

医療的ケアとは、鼻から胃へ通したチューブから栄養やミルクを入れる経管栄養や、首に空気の通り道を作る気管切開、呼吸サポートが必要な方の在宅人工呼吸器などがあります。

自宅でも医療的ケアを行うことになった時、家に帰るのが楽しみな反面、どんな生活になるのかと不安な気持ちもいっぱいだと思います。

最初に退院調整看護師は、こどもと家族がどんな生活を送りたいと思っているのかを聞いていきます。例えば、学校には絶対に行きたい、お風呂には毎日入りたいなど、生活の仕方や大事にしたいことは人それぞれです。安全で、かつ、望む生活ができるようにするにはどうしたら良いかを家族と一緒に考えます。家での体調管理やケアを手伝ってくれる訪問看護につなぐ事も大切な役割です。吸引器やベッドなど、ご自宅で生活するための物品や環境も整えていきます。

ご家族がケアを覚え、家族だけでも過ごせるようになった頃に、退院調整看護師が、家庭訪問をさせていただくことがあります。人工呼吸器を使いながら玄関に入れるか、こどものベッドの周りは安全か、ケアの物品は使いやすい置き方になっているか、お風呂はどんなふうに入れるのかなどを確認し、退院に向けての準備を一緒に行います。

実際の家庭訪問の様子（お人形でシミュレーション）



シンクに
ベビーバスをセットし、
キッチンでお風呂の
準備をします。



ベッド、人工呼吸器、
ケア物品の配置を
確認します。



退院日の一枚



桜の木の下で、
記念写真をパチリ。
ベビーカーに
人工呼吸器を載せて
います。



準備が整ったら、いよいよ退院です。

私たち退院調整看護師は、外来で笑顔のお子さんをご家族に会えるのが一番嬉しいです。

私たちも活躍しています

スタッフ紹介

私たち心療科は、2018年4月より児童精神科医師1名と常勤の心理職（臨床心理士／公認心理師）2名で、「リエゾン・コンサルテーション」を行っています。これは、身体の病気に伴う心の反応に対し、多職種と連携して「こどもと家族の心のケア」をサポートする活動です。

具体的には、医療スタッフからの依頼に応じて、心理面のアセスメントやカウンセリング、スタッフへのコンサルテーション（相談支援）を行っています。また、病棟をラウンドして、入院中のこどもやご家族の話を直接お聞きし、それぞれの状況に寄り添った支援を心がけています。さらに、親御さん向けのプログラム

心療科

（「安心感の輪」子育てプログラム）や、入院治療が必要なこどもの親の会（どんぐりカフェ）等を開催し、親御さん自身のお話を聞く機会も大切にしています。

こころのケアは、心理職だけが担うものではありません。医師や看護師、コメディカルを含むすべての職種が、こどもや家族の声に耳を傾け、気持ちに寄り添った対応を心がけています。私たち心理職は、身体治療に関わることはありませんが、こどもの発達段階や家族背景を含めた総合的な視点から、一人ひとりの心の状態に合わせた支援に努めています。



心理検査の実施



「安心感の輪」
子育てプログラム



親の会
（どんぐりカフェ）の会場

医療連携室

（患者様をご紹介いただく医療機関の皆様へ）

当センターの医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な連携に努め、患者様に専門的な医療を提供しております。

ご利用には「登録医としての登録」と登録医からの「診療申込み」が必要となります。当センターの医療連携室を是非ご活用ください。

TEL.0562-43-0508 FAX.0562-43-0510

URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

受付 月曜日～金曜日

時間 9:00～17:00

祝日、年末年始を除く。



外来診療のご案内

- 外来受付は、A～Dのブロックごとの受け付けになりました。
- 再診の際は、再来機受け付け後、グリーンファイルを各自で取り、診察へお進みください。
- 詳細については、ホームページ等でお確かめください。
- 当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。

予約電話番号 **0562-43-0509** ファクシミリ **0562-43-0510** (9:00～17:00まで)

◆診療時間

午前9時から正午まで／午後1時から午後4時まで

◆休診日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始

あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 大府市森岡町七丁目426番地
TEL(0562)43-0500 FAX(0562)43-0513
URL:<http://www.achmc.pref.aichi.jp/index.html>

